

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 27 年 5 月 21 日(木) 15:30 ~ 16:30 第一会議室

1. 挨拶 — 須藤健一（館長）—

2. ニュースリリース — 池谷和信（広報企画会議長）—
●みんぱくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. 音楽の祭日 2015 in みんぱく

詳しくは
こちら

国籍、年齢、性別を超えて、音楽を愛するすべての人が無料で参加できる市民参加型の一大音楽イベントです。2003年以來、今年で通算13回目の開催となります。プロアマ、ジャンルを問わず世界（日本を含む）の楽器を使った音楽パフォーマンスをする方たちが出演します。みんなで世界の楽器を持ち寄って音楽で友好を深めます。



会 期：2015年6月21日（日）

場 所：国立民族学博物館 特別展示館、本館エントランスホール

— 福岡正太（文化資源研究センター・准教授）—

4. 連続講座

みんぱく × ナレッジキャピタルー世界の『民芸』

詳しくは
こちら

一般社団法人ナレッジキャピタルとの共催講座の第2弾としてナレッジキャピタル「超」学校シリーズ「みんぱく × ナレッジキャピタルー世界の『民芸』」全7講を開催します。今回は日本の「民芸運動」を起点に世界の手仕事とものづくりをテーマに国立民族学博物館の研究者が21世紀の新しいくらしの美に迫ります。

— 吉田憲司（文化資源研究センター・教授・副館長）—

5. 最新の研究紹介

詳しくは
こちら

災害と文化財 — ある文化財科学者の視点から
（日高真吾 著）国立民族学博物館

— 日高真吾（文化資源研究センター・准教授）—

現代ネパールの政治と社会—民主化とマオイストの影響の拡大
（南真木人・石井溥 編著）明石書店

— 南真木人（研究戦略センター・准教授）—

6. 研究こぼれ話

古代アメリカの比較文明論：文化人類学からのアプローチ

資料 5

科研・新学術領域研究「古代アメリカの比較文明論」(H26-30) についてお話しします。同研究は、考古学者環境科学者との学際的な共同研究です。文化人類学の立場からは、現代のラテンアメリカの人々が、古代文明をいかに受け継いでいるかを検討し、文明の崩壊・終焉・復興・発展といった概念を刷新することを目指しています。

— 鈴木紀 (民族文化研究部・准教授)—

7. 企画展

岩に刻まれた古代美術 —アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリャン

資料 6

ロシア連邦ハバロフスク地方に暮らす先住民族ナナイの村落であるシカチ・アリャン村に現存する岩面画について、拓本と写真を使って世界で初めて一斉に紹介します。地元の少数民族ナナイの人々が顔面画と自分たちの文化とをどのように結びつけてきたのかを、村の伝承と民族資料から考えます。ロシア極東の先住民族の伝統と現代の姿を少しでも知る機会になり、関心を持っていただければ幸いです。



会 期：2015年5月21日(木)～7月21日(火)

場 所：国立民族学博物館 企画展示場

— 佐々木史郎 (先端人類科学研究部・教授)—



懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話 :06-6878-8560 (直通) FAX:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp